

令和4年度小・中学校連合作品展覧会について

1 開催概要

	展覧会名	日程	展示内容等
1	令和4年度 豊島区立小学校 連合作品展覧会	令和5年 1月27日(金)～29日(日)	小学校児童(1年生～6年生) の書写、図工の作品を展示
2	令和4年度 豊島区立中学校 連合作品展覧会	令和5年 2月3日(金)～5日(日)	中学校生徒(1年生～3年生) の書写、美術、技術・家庭の作 品を展示

※会場:小・中学校ともに、旧真和中学校体育館

2 当日の様子

今年度から、小学校の図工展覧会と書写展覧会を「連合作品展覧会」に統合し、子どもたちの日常の取組成果を幅広く公開した。また、小・中学校ともに、通常の学級と特別支援学級の児童・生徒の代表作品を一堂に展示し、小学校は1年生から6年生までの成長過程を、中学校は美術、技術家庭等の教科の学びを感じることができる展示となった。

(1) 小学校連合作品展覧会

・来場者数 4,429名(令和3年度3,066名)



(2) 中学校連合作品展覧会

・来場者数 848名(令和3年度 681名)



3 成果と課題

(1) 成果

- ① 小学校は「連合作品展」として、図工と書写の作品が合わせて展示されたことで、来場者は児童の日頃の取組や成長過程を見ながら、児童の豊かな感性に触れることができた。
- ② 「家族みんなで鑑賞できた。今後も区内の子どもたちの力作を鑑賞できる機会を作ってほしい。」といった保護者の声や、「特別支援学級の児童・生徒の作品も一堂に展示することで、児童・生徒同士が互いによさを認め合う機会となった。」といった教職員からの声があり、「連合作品展」を開催する意義を改めて確認することができた。

(2) 課題

- ① 作品台紙や名札等、展示作品の表示方法に各学校での違いがあった。「連合作品展」として統一すべき内容や様式を検討する。
- ② 会場が短いスパンで変わってくるので、レイアウト等、教員の意見を聞きながら事前の打ち合わせを丁寧に行う。

4 来年度に向けて

次年度は旧真和中学校体育館が会場として使用できないため、新たな会場の確保に向け調整中である。できるだけ多くの保護者や地域の方々は無理なく参観いただけるよう、今年度と同様の開催方法(統合開催、日数、展示作品数等)を継続できるようにする。